

平成27年11月20日
農林水産委員会提出資料1-2
(当日配布)

1 J A全農秋田県本部における肥料の成分分析結果について

(%)

商品名	保証票表示成分					肥料分析結果成分					備考
	全窒素	うち有機態窒素	うち無機態窒素	全リン酸	全加里	全窒素	うち有機態窒素	うち無機態窒素	全リン酸	全加里	
新ロング入り育苗	11.0	-	-	11.0	11.0	12.0	3.5	8.5	15.0	11.7	水稻育苗肥料 無機肥料
配合A苗代	10.0	-	-	14.0	10.0	11.7	1.0	10.7	13.2	10.6	水稻育苗肥料 無機肥料
新あきた追肥専用	15.0	-	-	5.0	15.0	14.6	0.5	14.1	4.8	13.5	水稻追肥肥料

- 保証票表示成分（肥料袋に表示されている成分）の「全窒素」と、今回の肥料分析結果成分のうち「無機態窒素」の成分を比較する。
- 上記3銘柄のうち、表示成分より無機態窒素成分が多い1銘柄は、特別栽培農産物等に影響を与える可能性がある。
- 国では、肥料取締法第30条に基づく立入検査を実施しており、その検査結果等を公表する予定となっている。また、J A全農も把握している成分内容を公表する予定であり、これらの内容を踏まえて対応していく。

2 特別栽培農産物認証の再判定・再認証の状況（県公社分）

承認申請	内訳	再確認済み				今後判定	
		問題肥料未使用	極少量使用	分析により基準値内確認	合計		
件数 259件 面積 4,156 ha 農家数 920人	認証済み	185件	117件	48件	件	165件	20件
		3,522 ha	828 ha	2,518 ha	ha	3,346 ha	176 ha
		601人	311人	217人	人	528人	73人
	未認証	74件					
		634 ha					
		319人					

- 認証済みのうち、まだ再認証していない20件については、J A全農秋田県本部から公表される成分分析結果等をもとに、再判定の作業を進めていく。
- 認証を終えていない74件についても、成分分析結果等に基づき、適格な認証審査を行っていく。

3 環境保全型農業直接支払交付金に係わる太平洋物産製造肥料の使用状況

	市町村数	申請件数	農業者数	申請面積 (ha)	交付見込額 (千円)
申請状況	17	32	405	1,402	95,345
うち太平洋物産製造肥料使用	5	7	70	333	21,028
有機農業	2	2	8	28	2,261
有機農業以外	3	5	62	305	18,767